



中学校新人体育大会開催

第58回甲府市中学校新人体育大会が『つなげよう 力強く さわやかに』～笑顔と汗とその思い～を目標として、10月8日（金）、9日（土）に開催されました。昨年度は、新型コロナウイルス



感染防止対策のため中止となった大会もありましたが、今年度は甲府市選手権大会を皮切りに、各種大会が予定通り開催されており、今回の甲府市中学校新人体育大会も無事開催することができました。現在の山梨県の新型コロナウイルスの感染状況は以前より好転していますが、仮に無症状の感染者がいて競技に参加した場合、これが原因でクラスターが発生することも十分に考えられます。各競技ごとに感染防止対策を行っているとはいえ、各会場に出場選手が集まる

るので、大会を通しての感染が起こらないことを願いつつ、2年生にとって最初の大舞台となる甲府市新人体育大会を応援していました。

今年度は、夏季休業期間中が新型コロナウイルスの第5波と重なり、8月6日に知事から「臨時特別協力要請」が出され、部活動を含め生徒を学校等に集めて行う活動ができなくなりました。さらに、8月20日には、「まん延防止等重点措置」が実施され、甲府市は措置区域となったので、部活動等の活動自粛期間が延長されました。夏季休業



が終了し2学期が始まる頃も依然感染状況が厳しく、8月30日から9月10日まで甲府市では「分散登校」を行いました。9月13日から部活動が再開されましたが、みんなみ祭体育部門の取り組みもあり、なかなか部活動に集中して取り組むことができない状態が続きました。22日にみんなみ祭体育部門が終了したときには、2週間ほどで甲府市新人体育大会を迎えるというときでした。しかし、大会を終えてみると良い結果を残した部が多く、山梨県新人体育大会に出場

する部・個人も多数となり、まさに日頃の努力の賜だと実感しました。2年生を中心とした各部の生徒の真剣な眼差しを目の当たりにすると、大いに価値ある大会になったと感じています。

山梨県新人体育大会の主な成績

- ソフトボール部 準優勝
- 陸上部 3位（共通女子総合）
- サッカー部 6位
- バレーボール部 7位
- 男子バスケットボール部 ベスト8

【陸上】

- 三井 陽里 1位（共通女子砲丸投）
- 今井 萌乃珠 2位（共通女子200m）
- 原野 愛梨 3位（共通女子走り幅跳）
- 今井 萌乃珠 4位（共通女子100m）
- 馬淵 峻模 5位（共通男子110mH）
- 原野 愛梨 7位（共通女子100m H）

【バドミントン男子】

- 篠崎 奏輝 3位（シングルス）

第52回 みんなみ祭文化部門開催

第52回みんなみ祭文化部門を11月10日に開催しました。本来の予定では9月16日に文化部門、17日に体育部門を開催する予定でした。しかし、夏季休業から2学期はじめが新型コロナウイルスの第5波と重なり、8月6日に知事から「臨時特別協力要請」、8月20日には「まん延防止等重点措置」、8月30日から9月10日まで「分散登校」と感染防止対策が続きました。学校での活動は9月13日から可能となりましたが、開催予定日まで3日しかなく、さらに、感染防止対策のため体育部門以外の練習はできない状態だったので、体育部門を22日に延期して実施し、文化部門は11月10日に延期しました。

9月下旬から新規感染者が減少し、予定どおり11月10日に文化部門を開催しました。学年劇にかける子供たちの思いをかなえることができ、本当に安心しました。

文化部門当日は、開会式を動画視聴で行い、その後1年生が「ともだちや」の劇を披露し、体育館では3年生が鑑賞しました。2年生は、教室の大画面テレビを通してオンラインで劇を鑑賞しました。1年生の劇は、初めて取り組んだとは思えないほど堂々とした演技で、今回3年生と2年生の劇を鑑賞したので、来年度はさらに素晴らしい発表を披露してくれることと思います。2年生は、「冥界のスープ」という劇を披露し、体育館では1年生が鑑賞しました。3年生は、教室の大画面テレビを通してオンラインで劇を鑑賞しました。2年生の劇は、昨年度1年生として初めて劇に取り組んだとは思えない素晴らしい発表でした。3年生は、「夏休み」という劇を披露し、体育館では2年生が鑑賞しました。1年生は、教室の大画面テレビを通してオンラインで劇を鑑賞しました。3年生の劇は、さすが3年生と思える発表で、戦争の悲惨さと平和について考えさせられる発表でした。

その後エンディング動画を視聴し、体育部門と文化部門を振り返りつつ、第52回みんなみ祭のまとめとしました。さらに、全校生徒でグラウンドで閉祭式を行い、最後に応援団による応援を全校生徒で行い、第52回みんなみ祭の幕を閉じました。

当初の9月17日開催予定から約2ヶ月後の文化部門の実施ということで、それ以外の取り組みや行事と平行しながら少しずつ準備を行ってきたので、やりにくいことが多々あったと思いますが、子供たちはと

ても前向きな気持ちで文化部門の取り組みに臨み、大きな成果を残すことができたと思います。コロナ禍での取り組みであり、いつも通りとはいかない面もあったわけですが、「制限はあるけれど、今できることに精一杯取り組もう」という気持ちで取り組めたことも大きな成果だったと考えています。生徒全員にとって、思い出に残るみんなみ祭になったと感じることができた1日でした。

